

＜令和の時代に求められる小学校教育の姿＞

急激に変化する社会の中であっても、子どもたち一人一人が豊かな人生を切り拓いていくための土台づくり

- ・自分自身や友達とよく考え判断していく力
- ・自分の可能性を認識し、前向きに実践していく力
- ・多様性を認めながら、他と協働的にかかわる力

＜香取市が目指す学校教育の姿＞

変化の激しい社会を前向きに捉え、たくましく生き抜く児童生徒を育てる香取の教育

学校教育目標

自分の良さや可能性を実感できる子どもの育成

— よく考えてする子ども —

中央小学校の姿

- 子どもの未来に責任がもてる学校
- 地域に愛されるあたたかい学校

教職員の姿

子どもの多様性を理解し、一人一人の良さや可能性を引き出すために、みんなで考え、学び続ける教職員

Vitality、 Speciality、 Originality、 Personality
(共に成長) (専門性の磨き合い) (持ち味の発揮) (豊かな人間性)

めざす子ども像

子ども像	よく考えてする子ども		
	(知) 主体的に学ぶ子ども	(徳) 互いの多様性を認め、協力する子ども	(体) 健康・安全に気をつけ、努力する子ども
子どもが育つ場	授業等 「個別最適な学び」 「協働的な学び」	学校生活全般	
子どもの具体的な姿(例)	・考えることが楽しい。 ・学ぶことが楽しい。 ・進んで取り組む学びがある。	・友達や自分の良さを知り、楽しく過ごす。 ・いじめをしない。 ・進んで友達と協力する。	・自分の心と体の健康と安全を考え、行動する。 ・粘り強く努力する。 ・学校や友達・下級生のために進んで働く。
合言葉 あ・そ・べ	べんきょう	あいさつ・あそび	そうじ・あそび

学校生活の中で児童一人一人が成功体験を積み上げていくことにより、自分の良さや可能性、成長を実感させていく。それが児童にとって自己肯定感や自信、次への意欲となり、急激に変化する令和の時代においても、豊かな人生を主体的に切り拓いていくための生きる力となる。